

# ミック・イタヤさん

4月28日から、しもだて美術館で始まる「アートのある暮らし展 ART in LIFE ミック・イタヤの作品と生き方」。準備のために来館中のミック・イタヤさんを訪ね、筑西市の印象や展覧会の見どころなどを伺いました。



ミックさんと下館(筑西市)との関係は？

下館は、父の生まれたところ。僕は高校を卒業するまで水戸で育ちましたが、子どものころからお盆とお正月には必ず下館に帰ってきました。「下館祇園まつり」も毎年楽しみにしています。

今回の展覧会のきっかけは？

ずっと東京で仕事をしてきましたが、故郷で何かできることはないかとぼんやり考えていたときに、しもだて美術館から展覧会をやらないかと声をかけていただきました。僕が今までやってきたことを自分なりの手法で、故郷に恩返しができるならと喜んで引き受けました。

また、茨城県からも依頼を受け、県内で活躍する工芸作家さんたちのお手伝いをしていきます。伝統工芸にアートの要素が加わるとおもしろいものができるんですよ。

板谷波山先生から影響を受けたことは？

昔からよく「波山先生の孫

だからね」と冗談で言われています。なかには「風貌も似ているね」とか(笑)。

波山先生の作品は折にふれ拝見しています。繊細な仕事ぶり、自分の道を貫く意志の強さ、そして、美に対する考え方などすごく刺激を受けています。また、洋画家の森田茂先生も郷土の大先輩です。足元にも及びませんが、なんとか近づきたいと思っています。

近年は伝統工芸に関わるなど幅広い活躍をされていますが、

現代の生活において、伝統工芸は恵まれた状況に置かれていません。卓越した技術も、なかなか魅力を発揮できないでいるというのが現状です。

僕は、そこに「かっこよさ」を提案して、伝統工芸が今の生活スタイルに溶け込むようにお手伝いしています。展覧会では「提灯ちようちん」や「漆塗りうるしぬ」にアートをプラスした作品をぜひご覧いただきたい。

展覧会を楽しみにしている市民へのメッセージを。

僕の若いときから現在までの仕事、表現してきた歴史を展示しますので、こういう生き方の人間もいるんだなというところを見て欲しい。曲がった心ではなくて、素直に楽しむことができたら、もうそれだけですごく人生が楽しくなると思います。そんな気持ちで作品をご覧ください。

## 伝統があるから 未来が生まれる

Micstaya

1954年水戸市生まれ。本名 板谷充祐(いたやみちまさ)。父親の出身地下館市(現筑西市)に転居し下館を第二の故郷とする。多摩美術大学卒業。ユニクロ創立時のロゴや東京スカイツリー「ソラマチ」の壁面装飾などを手がける。カセットマガジン「TRA(トラ)」はニューヨーク近代美術館の永久保存に選定、収蔵される。

# アートのある暮らし展

## ART in LIFE ミック・イタヤの作品と生き方

グラフィック・デザインをベースに常に流行の最先端で制作を続けるアーティスト、ミック・イタヤ。2012年グッドデザイン賞を受賞した「すずも提灯」が世界から注目を集め、伝統工芸とアートの融合がライフワークのひとつになっています。今展では初期から新作までを含む代表作と、故郷である茨城の伝統工芸を独自のデザインでアートに変貌させた作品を展示し、新しいライフスタイルを提案します。

会期 **4/28(土) - 6/24(日)**

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日 月曜日、ただし4月30日(月・祝)は開館し翌日休館

入館料 一般500円/団体(10人以上)400円/高校生以下無料

### 関連イベント

#### ■ミック・イタヤと缶バッジを作ろう

日時: 5月3日(木)～6日(日) 午後2時～3時 会場: 美術館ロビー

参加費: 無料 対象: どなたでも参加できます。

#### ■フリートーク ミック・イタヤ×辻徹

日時: 5月12日(土) 午後2時～ ゲスト: 辻徹さん(漆芸家)

会場: 美術館展示室 ★入館券が必要です。

#### ■ワークショップ茨城クラフアートから

##### ①「漆と漆塗りを学ぶ」

日時: 5月13日(日) 午後2時～ 講師: 辻徹さん(漆芸家)

会場: 美術館ロビー ★入館券が必要です。

##### ②「継紙(つぎかみ)を作る」

日時: 5月20日(日) 午後2時～ 講師: 小室久さん(小室かな料紙工房)

会場: 美術館ロビー 参加費: 3,000円(先着6人)

##### ③「桐下駄製作実演」

日時: 6月10日(日) 午後2時～ 講師: 猪ノ原武史さん(猪ノ原桐材木工所)

会場: 2階クラフト室 参加費: 無料



#### 受け継ぐ伝統 結城地方の桐下駄

2月20日に茨城県伝統工芸士の認定証交付式が県庁で行われ、「結城地方の桐下駄」を製造する猪ノ原桐材木工所の猪ノ原昭廣さんと猪ノ原武史さん(関本上)が認定されました。お二人は伝統を守りながらも現代にも通じるデザインを取り入れた桐下駄を製造し、その発展にも貢献しています。作品はこの展覧会で展示します。

#### ■おしゃべり音楽会 ミック・イタヤ×溝口肇

「世界の車窓から」のテーマ音楽で知られるチェリスト、溝口肇さんとミック・イタヤさんの気軽なおしゃべりとミニコンサート。

日時: 6月9日(土) 午後2時～

会場: 美術館ロビー 参加費: 無料 ★詳しくは下記まで。

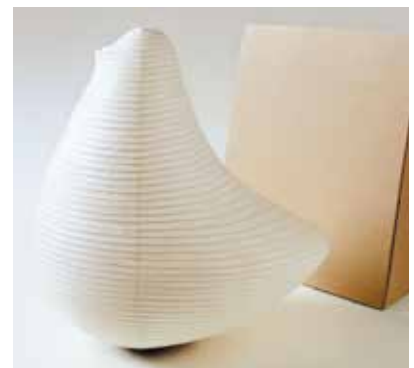
しもだて美術館 Shimodate Museum of Art 23-1601 HP www.shimodate-museum.jp



ラバーズアンドウィングス 1988年



手鏡/辻徹/茨城クラフアート



すずも提灯/茨城クラフアート



ステラフィーネ/顔の時計 1985年



Photo:TAKEO OGISO